



学校だより

みどりの

- 考え伝え合う子
- 心豊かな子
- 元気な子
- やりぬく子

令和3年5月31日

まずはきっかけから

校長 遠藤 昌司

西昇降口前には大きな梅の木があります。関東地方の梅雨入りも間近ですが、「梅雨」という言葉は中国から伝わったそうです。諸説ある語源の一つ、「梅の実が熟す頃の雨だから」という説のとおり、大きな実がたくさんなり、赤みを帯びてきているものも見られます。雨が多くなる梅雨時は、傘をさして歩く子ども達にとって、視界が遮られることで交通事故のリスクが高くなります。交通安全について、改めて意識をしてほしいと思います。

ニュース番組でも盛んに報じられていましたが、5月の終わりに3年ぶりの皆既月食がありました。今回のような皆既月食は、地球上の半数の人が同じ現象を目にすることができるので、“ワンチーム”ならぬ“ワンアース”を実感することのできる機会でしたが、あいにく首都圏は厚い雲に覆われてしまい、大和市でも観測できない状態で、とても残念でした。

緑野小学校では、今年度も自主学習の取り組みを進めており、4月に「家庭学習への取り組みについてのお願い」を配付しました。自主学習については、ねらいを次のようにとらえています。

- ① 自ら課題を見つけ主体的に学ぼうとする姿勢を育てること
- ② これまでの学習内容を自分のペースで確実に身につけること

緑野小学校の子ども達に期待したいのは、特に①についてです。昨年度より実施となった学習指導要領においても、主体的な学びということが重要視されています。授業の中で学習したことについて深く追究したり、関連することを探したり、ニュースや新聞から新たな課題を見つけたりすることもできるでしょう。既に興味関心の高いことがあるのならば、そのことについて少しずつ調べていくのも良いかもしれません。子ども達の主体的な学びにつながるよう、おうちの方からも励ましやアドバイスなどの支援をぜひお願いします。自分のことで恐縮ですが、小学生の時に社会科が苦手だった私が今でも日本史に関することに興味を持っているのは、6年生の頃に親から買ってもらった歴史漫画を手にしたことがきっかけでした。「好きこそ物の上手なれ」という諺もあるように、何かのきっかけが子ども達の興味関心につながれば、自主学習も充実したものになることでしょう。

さて、先に触れた今回の皆既月食には、同時にスーパームーン、赤銅色の月などの天体現象が重なっていました。6月の天体イベントとしては、月と木星・土星が接近する様子が月の初めと終わりに見られるそうです。天体現象の仕組みを調べたり星空の観察をしたりすることも、自主学習の良い課題になると思います。